静岡 ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER
4月1日火曜日
昭和50年（1975年）
昭和49年5月1日第三種郵便物認可
発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人　協会理事長堀田哲爾
編集人　サッカーニュース社
二本木一夫
清水市辻町5丁目1の31
電話(0543)67-1970清水ゴール
編集専用電話66-5282(代)
毎月1回1日発行　1部20円

PEPSI

清水社会人リーグ開幕迫る！

東亜燃料の初優勝なるか

今年で第十回を迎える清水市社会人リーグは四月六日市営グランドでA、B、C各リーグ全チームで盛大な開会式が行なわれる。本年度から日本経済新聞社寄贈の優勝カップ、準優勝楯がAリーグに贈られる。

今年のAリーグは戦ムードの様相を示しそうだ。

昨年優勝し上部昇格のなったスター精密のようなチームが見当たらず、優勝候補を探すのに苦労するような状態だ。

その中で有力視されるのが昨年準優勝の東亜燃料。これまで清商クラブ、スター精密等のチームに苦汁を飲まされていただけに、今年こそチャンス到来だ。しかし、豊年リーバ、蒲原クラブを相手に昨年のような試合をすると夢は遠のきそうだ。そのへんが優勝のカギだろう。

豊年リーバ、三井フロロ、蒲原クラブがそれを追うだろうが、今年は蒲原クラブを注目したい。

蒲原クは、蒲原出身選手を呼び戻しかなりの補強をしたので東燃とて油断出来ない。

以上四チームで優勝を争うだろうが、いずれにしろ星のつぶし合いとなりそうなので、下位チームとの取りこぼしが致命的になりかねないようだ。

ダークホースは横砂キッカーズ、昨年後半のような力を開幕から発揮すれば上位進出も可能だろう。また八坂ユース、日立、あがクラブは共に力不足の感はするが各チーム共、豊年リーバや蒲原クラブを食っているので調子の波に乗れば一気に浮上しそうだ。

新しいチームは、清水ゴール（旧蹴友会）、清水製薬だが昨年Bリーグで土つかずの清水ゴールにはかなり期待できそうだ。また小粒ながらまとまりのある清水製薬も伏兵としてあなどれない好チームだ。

Bリーグは鈴与に期待！

Bリーグも Aと同様波乱必至だ。一応優勝候補にはAから降格の中山製鋼、昨年Bへ上がり上位入賞を果たした小糸B、七中OBの争いだろう。

これに挑むのが、実力ある鈴与クラブ、この五チームが頭一つリードしているようだ。古株、伊藤鉄工、清水銀行、実績ある豊年製油も巻き返しを狙っているので楽観はできない。

新しいチームは昨年Cリーグ加盟し即優勝のイハラ建成、一気にAリーグ入りを狙っているだけに台風の目となるだろう。返り咲いた武田薬品も若返っているだけにイハラ同様侮れない。

Cリーグは清工OB旭クラブの優勝か

清水工高OBで組織する旭クラブが過去杉山杯等で好成績を収めておりCリーグは、新チームの実力が未知なだけに予想しにくいが、

写真は日本経済新聞社杯

十三チームで行なわれる。

優勝は間違いないだろう。

これに続くのが丸徳クラブ、園芸、クミアイ化学あたりだろう。

東洋製缶、静甲いすず友愛クラブも実力接近しているので二位争いは熾烈を極めそうだ。

新チームの予想だが旭クラブは別として新結成だけにリーグの水に慣れれば一波乱起しそうな気がする。

その中で、清商卒業ホヤホヤの選手を集めたバイエルンジュニアだろう。

全清水の役員決定！

日本一の指導者メンバー決まる

全清水サッカースポーツ少年団では五十年度全清水指導者メンバーを発表した。

特にチャイルドとOBを強化、全代表には堀田理事長があたり、直接技術指導にも力を入れる。

少年団には特に若手を使い、たてわりの関係を強化しているのが目立つ。

メンバーは次の通り

全清水サッカースポーツ少年団指導者名簿

代表	堀田　哲爾				
総務	鈴木　石根　小島　鋼雄				
	小花　公生　小林　芳夫				
中学会計	浄見　元紹				
少年会計	押見美知枝				
チャイルド担当	主任	深沢　孝俊			
	稲葉　浩　雅夫				
	渡辺　礼子　石川　克洋				
	岡崎　みき　押見美知枝				
	相談役				
3年担当	主任	中山　雅夫			
	高山　薫				
	相談役	小島　鋼雄			
4年担当	主任	押見美知枝			
	望月　保次				
	相談役	鈴木　石根			
5年担当	主任	鈴木　淳志			
	中島　孝				
	相談役	小島　鋼雄			
6年担当	主任	小花　公生			
	深沢　孝俊				
	相談役	鈴木　石根			
中1担当	主主任	浄見　元紹			
	鈴木　敏郎				
	相談役	小林　芳夫			
		小島　鋼夫			
中2担当	主任	望月　敬治			
	古川　一馬				
	相談役	鈴木　石根			
		押見美知枝			
中3担当	主任	沢　秀敏			
	矢加藤　剛重				
	相談役	花　公生			
		木　石根			
高校担当	主任	勝沢　要			
	望月　英夫				
	谷川　龍雅				
	相談役	苫米地康文			
社会人担当	主任	徳竹礼二郎			
	狩野　茂				
	塩沢　喜一				
	杉山　茂樹				
OBの部	主任	酒井　陸夫			
	浄見　元紹				

第5回清水市少年サッカー町別大会

組合わせ決まる

第五回を迎えた清水市少年町別サッカー大会の組合わせが決まった。

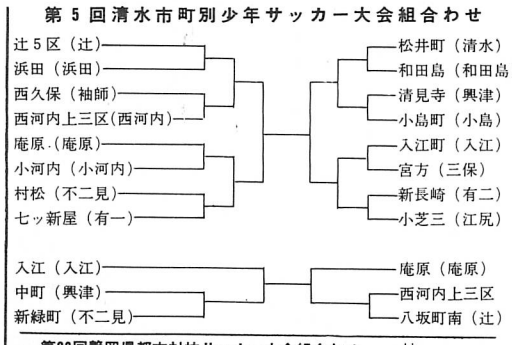
男子は十六チーム女子は六チームの参加で、昨年優勝の和田島と清水松井町が一回戦であたり激戦がつづく。

優勝の可能性はどの町内にもあるが特に入江町、七ッ新屋、西河内上三区、そして昨年のチャンピオン和田島あたりがあげられる。

女子は興津中町と庵原あたりが良い。

組合わせは次の通り

第5回清水市町別少年サッカー大会組合わせ



第九回静岡県社会人サッカー一部リーグ

十六チームで開幕
ヤマハ抜群の強さ

五十年度県サッカー場でありながら4対0と簡単に退けすばらしい力を示した。

リーグは、本年度十六チーム総あたりで三月九日より開幕、熱戦の火ぶたが切られた。

十六チームの中で最も優勝の色濃いのは杉山隆一氏率るヤマハである。

清水クラブも好調なスタートを示したが十月末まで続くだけに全く予想もつかない。

組合わせ日程は次の通り。

初戦東芝を杉山不出

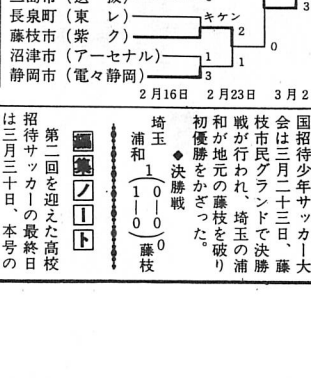
昭和50年度第9回静岡県社会人リーグ（1部）日程表

節	月	日	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合
1	3	9	東芝―ヤマハ	ポーラ―日鋼管	藤枝市―矢崎	志太ク―静ガス
			日総―清水ク	FC浜松―浜友会	芙蓉―沼津ア	藤北ク―紫ク
2		16	藤北ク―静ガス	東芝―沼津ア	藤枝市―日鋼管	ポーラ―紫ク
			芙蓉―矢崎	FC浜松―清水ク	志太ク―浜友会	日総―ヤマハ
3		23	ポーラ―静ガス	東芝―矢崎	芙蓉―日鋼管	日総―沼津ア
			FC浜松―ヤマハ	志太ク―清水ク	藤枝市―紫ク	藤北ク―浜友会
4		30	ポーラ―矢崎	東芝―清水ク	日総―浜友会	FC浜松―静ガス
			志太ク―紫ク	藤北ク―日鋼管	藤枝市―沼津ア	芙蓉―ヤマハ
5	4	6	東芝―日鋼管	日総―矢崎	藤枝市―静ガス	藤北ク―清水ク
			芙蓉―紫ク	ポーラ―浜友会	志太ク―ヤマハ	FC浜松―沼津ア
6		13	日総―日鋼管	東芝―紫ク	芙蓉―静ガス	志太ク―沼津ア
			藤北ク―ヤマハ	ポーラ―清水ク	FC浜松―矢崎	藤枝市―浜友会
7		20	志太ク―矢崎	藤北ク―沼津ア	ポーラ―ヤマハ	藤枝市―清水ク
			日総―紫ク	東芝―静ガス	芙蓉―浜友会	FC浜松―日鋼管
8		27	藤北ク―矢崎	志太ク―日鋼管	ポーラ―沼津ア	藤枝市―ヤマハ
			芙蓉―清水ク	日総―静ガス	東芝―浜友会	FC浜松―紫ク
9			藤枝市―日総	ポーラ―FC浜松	芙蓉―東芝	清水ク―矢崎
			浜友会―日鋼管	静ガス―紫ク	ヤマハ―沼津ア	藤北ク―志太ク
10			ヤマハ―矢崎	志太ク―ポーラ	藤枝市―FC浜松	芙蓉―日総
			藤北ク―東芝	清水ク―日鋼管	静ガス―沼津ア	浜友会―紫ク
11			静ガス―矢崎	藤枝市―志太ク	藤北ク―日総	浜友会―沼津ア
			ヤマハ―日鋼管	ポーラ―東芝	清水ク―紫ク	芙蓉―FC浜松
12			清水ク―沼津ア	芙蓉―志太ク	静ガス―日鋼管	藤枝市―東芝
			藤北ク―FC浜松	ヤマハ―紫ク	ポーラ―日総	浜友会―矢崎
13			志太ク―東芝	ヤマハ―静ガス	紫ク―沼津ア	芙蓉―藤北ク
			藤枝市―ポーラ	FC浜松―日総	清水ク―浜友会	日鋼管―矢崎
14			志太ク―日総	清水ク―静ガス	ヤマハ―浜友会	藤枝市―藤北ク
			芙蓉―ポーラ	日鋼管―沼津ア	FC浜松―東芝	紫ク―矢崎
15			ポーラ―藤北ク	藤枝市―芙蓉	志太ク―FC浜松	ヤマハ―清水ク
			紫ク―日鋼管	矢崎―沼津ア	浜友会―静ガス	日総―東芝

都市対抗　浜松が優勝！

第二十三回都市対抗サッカー大会は沼津市で行われたが、クラベが川根を3対1で破り初優勝した。

第23回静岡県都市対抗サッカー大会組合わせ



遠征浦和藤枝を破り初優勝！

第一回藤枝JC杯全国招待少年サッカー大会は三月二十三日、藤枝市民グランドで決勝戦が行われ、埼玉の浦和が地元の藤枝を破り初優勝をかざった。

◆決勝戦

埼玉	1	0－0	0	
浦和	1	1－0	0	藤枝

編集ノート

第二回を迎えた高校招待サッカーの最終日は三月二十日、本号の刷り上がりはその前後になる。今年から授与されることになった読売新聞社から寄贈の優勝旗は〆切後に到着したため、本号は報知杯の紹介だけに終った◆読売優勝旗と報知杯をめぐって五日間の熱戦は次号に特集される◆時を同じくして、清水社会人リーグに本年度から日本経済新聞社より日経杯と日経桶の寄贈が決定。四月六日の開会式に披露されるがこれらの実現に努力された関係者各位には深く敬意を表したい◆さて今年の四月は統一地方選挙で新年度に入るが、三月十九日に告示された十七都道府県知事選を皮切りに、昭和五十年代前半の全国的な政治戦が展開される地方議員や市議の告示も近い。明るい選挙になってほしいと願っている。

（二本木）

昭和50年度清水サッカー協会役員

役職	担当	氏名	役職	担当	氏名
顧問		栗田　順作	常任理事	中学生副部長	望月　敬治
会長	県協会副会長	稲名　嘉男	〃	少年団部長 県理事	鈴木　淳
副会長	社会人 ナイター	中沢　通訓	〃	少年団副部長	中山　雅夫
〃	高校	長沢　祐二	〃	県1部リーグ事 県理事	西川　昌宏
〃	中学	佐藤　一郎	〃	県2部リーグ事 県理事	石川　武宣
〃	少年団	中島　巌	〃	市長リーグ実行委事 県理事	暮林　常男
〃	社会人(庵原郡)	馬場　実	〃	社会人A理リーグ事 県理事	山西　一光
理事長	県本部委員	堀田　哲爾	〃	社会人B理リーグ事 県理事	深沢　彰治
副理事長	支部長 県本部委員	清水　博史	〃	社会人C理リーグ事 県理事	岡本　省二
〃	県理事	安間　宏	〃	蒲原リーグ事 県理事	若月　芳隆
〃	県理事	鈴木　石根	〃	ナイター部長 県理事	清水　博史
常任理事	総務委員長 県理事	苫米地康文	〃	社会人全清水	徳竹礼二郎
〃	副支部長 県理事	徳竹礼二郎	〃	高校生全清水	谷川　龍夫
〃	副支部長 県理事	杉山　幸広	〃	中学生全清水	浄見　元紹
〃	庶務委員長 県理事	小花　公生	〃	小学生全清水	小島　鋼雄
〃	庶務	押見美知枝	〃	自治体	滝　覚
〃	庶務(会計)	深沢　孝俊	〃	OB	酒井　陸夫
〃	技術委員長 県理事	狩野　茂	〃	青年団	杉山勝四郎
〃	技術委員	望月　保次	〃	体育指導員	芦沢　義隆
〃	審判委員長 県理事	杉山　茂樹	〃	〃	村上　保
〃	社会人部長 県理事	中村　祐介	〃	広報	二本木一夫
〃	高校生部長 県理事	勝沢　要			中島　巌
〃	高校生副部長 県理事	望月　英夫			塩沢　喜一
〃	中学生部長 県理事	小林　芳夫	会計監査		
〃			〃		

日本リーグの来清決まる！
藤和対永大
六月一日清水で開催！

清水サッカー協会は五十年度日本サッカーリーグの好ゲームを企画中であったが、この度日本サッカー協会よりリーグ六月一日の好カードその準備にかかっている。

藤和対永大に決まり、

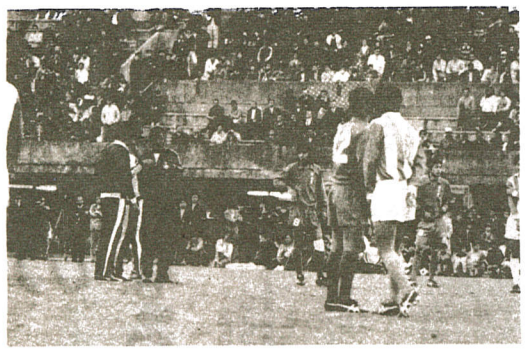
この二チームについては、すでに日本リーグの新顔と思えないベテランチームの位置にあり、特に両チームとも外人の中盤を持ち、監督は永大は大久保、藤和は石井と両人とも若手のホープ。

永大は正月天皇杯に決勝まで進み最後にヤンマーに惜敗した自信は大きく、今リーグ最も期待されているチーム。

藤和も下村元監督がクラブ全体の指揮官となり、選手づくりのうまい石井氏にまかせ上位進出をねらっているチームだけに好試合が予想される。

高校生にペレサッカー教室

▲高校生にフリーキックを具体的なポジションで指導するペレ。



▲市営グランドは見物人でいっぱい。

▲ペレのボールをみつめる子どもたち。

清水サッカー協会
五十年度の重点目標決まる！

三月十三日行われた五十年度清水市サッカー協会行事計画のうち重点目標を確認、各種別にいよいよスタートした。種別重点目標は次の通り。

50年度清水市サッカー協会重点目標と行事

社会人		**本部**	
清水市社会人サッカーリーグの充実		清水市技術委員会の確立	
地区コーチ制度の確立		審判技術の強化	
審判技術の向上と審判員の増員		グランド確保	
日本リーグの開催		ミニサッカー大会の開催	
各種大会見学団の編成		チャイルドサッカーの普及	
ナイターリーグの運営		ＯＢサッカーの普及	
高校		地区別サッカー大会の開催	
招待サッカーの運営		**行事**	
インターハイ・選手権への出場		第７回ナイターリーグ	３月～
ＪＣ大会への協力		県・市リーグ	３月～
中学		少年リーグ	６月～
指導者の強化		スポーツ祭	５月
全国大会への出場		市民大会	10月10日
各種大会の整理と運営		杉山杯	12月
全清水の強化		ＪＣ大会	１月
少年団		港まつり大会	７月
ヨーロッパ遠征		清静招待サッカー	１月
リーグ戦の充実		高校招待サッカー	３月
県大会への強化		ミニサッカー大会	月間
後援団体づくりへの施策		コーチングスクール	11月～
コーチ制の確立			
全国大会への出場			
全清水の強化			

▼写真は重点目標の高校招待サッカー 読売新聞社提供

第二回西日本ＯＢ大会
清水クラブＯＢ三位決定戦に勝つ！

第二回西日本ＯＢサッカー大会は三月十六日神戸御崎サッカー場に全国八地区から集まった若者によって好試合が展開された。

清水クラブＯＢも二十才以上、平均年令三十五才以上のＯＢクラスに出場。一回戦で石川県金沢のフェニックスチームを３対０で破り好調なスタートを切ったが、準決勝で熊本教員チームに３対０で敗れ決勝進出はならなかった。

しかし三位決定戦で刈谷を接戦の末２対０と破り三位を確保した一回戦金沢との試合は年令別上位より出場のルールがあり、小林（44才）をはじめ望月啓一（41才）鈴木石根（41才）のベテランが出場。前半小花、後半勝沢、松下の得点で大勝した。

二回戦は御崎グランドメーンの芝生の上で熱戦をくりひろげたがスピードにまさる熊本チームに一方的に攻られ、３点を取られ敗れた。

三位決定戦は刈谷チームと対戦、前半は両チーム得点なく。後半になってＰＫを勝沢がきれいに決め、一度は刈谷の得点で同点にされたが徳竹の見事なシュートが決まり面目をのこした。

わがチームの中心はバックに小林伸一、浄見元紹、松下昌弘、安間宏、小林芳夫、徳竹礼二郎、中盤に望月啓治、清水博史、矢沢秀敏、トップに小森好章小花公生、鈴木石根、堀田哲爾、そしてゴールキーパーに勝沢要と平均年令37・8才のチーム。

他に巻口薫、竹下修二、杉山茂樹の三氏が特別参加し全員ＯＢサッカーの大醐味を味わった一日であった。

PEPSI

高校招待サッカーに報知杯！

三月二十六日より五日間、清水市で開催される、第二回高校選抜招待サッカーの優勝チームに本年度から読売新聞社より優勝旗、準優勝チームには報知新聞社よりの報杯が、読売新聞静岡支局長、市協会中島副会長、堀田理事長他、高校サッカー関係者の尽力で贈られることになった。

読売優勝旗と報知杯の実現で、本年度からこの大会は、また大きく飛躍することになり好試合が期待される。

（写真は報知新聞社から贈られた報知杯）

50年度清水市
少年サッカースケジュール発表！

清水参加のものと単独チーム参加のものと両面にわたり計画されたもので、特にリーグ戦に三年の部と女子ジュニアの部の増加されたのが目立つ。発表された内容は全

清水市少年サッカー行事年間計画表 ○印は全清水参加

４月末	オール清水入団テスト月間
４月13・20日	スポーツ祭清水予選
４月29日～５月３日	全国少年サッカー大会県予選
５月18・25日	県スポーツ祭親子大会（焼津）
６月１日	市サッカーリーグ開会式
６月７日～	少年サッカーリーグ ３年の部　４年の部　５年の部 ６年の部　女子の部　女子Ｊの部
○ ８月１～13日	ヨーロッパ遠征
○ ７月26・27日	港まつりサッカー大会
○ 11月３日	東海四県大会県予選（沼津）
○ 11月29・30日	東海四県大会（名古屋）
○ ８月16～20日	全国サッカー少年団大会（東京）
12月６～21日	第８回県サッカー少年団大会清水市予選
１月10～18日	ＪＣ大会
○ 12月26～28日	清水少年招待サッカー試合
２月８・11日	県少年サッカー大会
３月27・28日	町別サッカー大会
○ １月25日	招待試合
○ つま恋招待サッカー試合	８月
○ 読売招待サッカー試合	８月・３月
○ 刈谷招待サッカー試合	11月
○ 関西サッカーサマーフェスティバル	８月末
○ 藤沢・清水交歓会	11月
○ ＪＣ全国招待サッカー	３月
久能東照宮サッカー	８月(有度二)
○ 京都招待サッカー	

清水市ミニサッカーリーグ開催！

市技術委員会ではこのたび年間を通して月曜ミニサッカーリーグを開き、技術向上に役立てる事になりチーム結成を集めている。次の要項をルールを研究されたい。

清水ミニサッカーリーグ要項

主催	清水サッカー協会　主管　清水サッカー協会技術委員会
後援	こんまつ
主旨	少人数で行われるミニサッカーは，南米でもヨーロッパでも，全国選手権が行われ，サッカーと別の意味の技術向上に役立っています。本年度　清水サッカー協会では　技術講習会を兼ねて，月曜日ごとに　リーグ方式でゲームを楽しみ，特にボールコントロールと　せまい場所でのパスワークのトレーニングを考え，年間通して　リーグを開催する。
参加チーム	10名を１チームとし，清水市内在住及び清水市内チーム所属のもので，ミニサッカーリーグ運営委員会で認めたチーム。10チーム。学生も可。
場所	辻小学校体育館
申込み	所定の用紙に登録選手を明記し，４月５日までにゴールに提出。
参加料	2000円
代表者会議	４月７日（月）辻小体育館　７時より

春休み練習試合さかん

春休みは静岡県へ県外からの遠征チームが特に多く，高校では十九チームの全国の強チームが来る。また少年団も三月末四月初にかけて仙台をはじめ多くのゲームのスケジュールが予定されている。

少年団春休み練習試合スケジュール

３月22・23日	藤枝ＪＣ招待サッカー大会
３月21・23日	大井川招待サッカー大会
３月25・26日	つま恋少年サッカースクール
３月29日	鎌倉サッカー少年交歓会（清水小・辻小）
３月21日	富士芙蓉会交歓サッカー（清水小）
３月30・31日	横浜中学生招待サッカー（全清水・四中・一中）
４月１・２・３日	仙台サッカー少年団交歓会（全清水中学）

第８回少年リーグに新種別生まれる
女子ジュニアーと三年の部
チャイルドも十月より発足

少年を育てようと少年リーグを中心に組織されている少年育成会は、五十年度リーグを下記の要項に決定、発表した。

第８回清水市少年少女サッカーリーグ要項

主催	清水市サッカー協会　清水市スポーツ少年団本部
主管	清水市サッカー少年団育成協議会
後援	清水市教育委員会　清水市体育協会 静岡新聞社　静岡放送　読売新聞社
期日	昭和50年６月１日～10月10日までの土．日．祭日
種別	６年男子　５年男子　４年男子　３年以下　女子 ジュニア女子　チャイルド(１年生以下)10月より
参加規約	１．県サッカー少年団育成協議会登録の社会団体チーム母体チームのこと。 ２．スポーツ傷害保険に加入のこと。 ３．保護者の承諾書提出のもとにスポーツ活動をしている団。 ４．フランチャイズをグランド）を試合に提供できること。 ５．登録チームより種別ごとに１チーム参加できる。１チーム26名まで。 ６．全清水等清水市サッカー協会に協力できること。 ７．試合運営のため，審判のできる人のいること。
参加料	１チーム　5000円
代表者	会議出席の実質的指導者であること。